

## 前橋市が目指す将来像

本市は、農業、建設業、製造業、卸・小売業、学術研究機関、医療・福祉業等、数多くの業種が存在し、全体としてバランスの良い産業構造となっております。とりわけ製造業については、かつて栄えた製糸業の流れから、製造・加工技術が発展し、輸送用機械器具製造業、食料品製造業、などの業種が多く立地し、「ものづくり」の精神が根付いています。さらに農業については全国有数の農業生産額を誇ります。

また、本市が位置する群馬県の県央部は、内陸でありながら交通網が発達し、災害にも強い場所です。

この様に本市は、異なる業種の交流や、学との連携による新たな価値の創造、物流の優位性等、これから今まで以上に産業を発展できる多くの特徴を有しております。こうした特徴を十分に活かしながら、市内の企業、そこで働く人々が活力をもって、努力と工夫を重ねることによって、産業が発展し、活力あふれる前橋市を目指します。

### ■本市をとりまく現状

- ①人口減少 ②生産年齢の減少 ③生産拠点の海外移転 ④グローバル化による競争激化  
⑤消費需要減少等 ⑥価値の多様化 ⑦モータリゼーション ⑧長期化するデフレ⑨ IT社会

●国内経済を牽引してきた、従来のものでづくりの有り方が難しい状況にある。

●小売業、卸売業は従来どおりの事業では、継続、発展が難しい状況

### ■こうした状況を打開するポイント

I 前橋市の特性、ポテンシャルを活かした産業振興

II 地元企業が様々な状況の変化に対応できるよう、足腰の強い企業になる

III 活力ある産業のため、人々の活力を引き出す

### ○本市の地域の特性、ポテンシャルを活かした活気ある産業が立地する都市

- ・国内屈指の農業生産を活かした多様な製品を生み出す都市
- ・市内学術研究機関の知を活かした、オンリーワンの製品・技術開発ができる都市
- ・交通の結節点を活かし、製造業、運輸業を含め多様な産業が発展する都市
- ・首都圏からのアクセスの良さを活かした、バックアップ拠点としての都市
- ・BCPの観点からの企業の立地が進む都市
- ・市内で学ぶ若者の活力を活かして産業が発展する都市
- ・交通の利便性と地価とのバランスを活かして発展する都市
- ・新たな価値を生み出す文化が根付いた都市
- ・多くの先進医療機関と企業が連携することで、独自技術が発展する都市

### ○不況や構造変化に強く、持続的に成長できる産業都市

- ・多種多様な産業が立地する都市
- ・市内農業を活用し、食品産業の発展する都市
- ・新たな価値(イノベーション)を創造し、新産業が立地する都市
- ・企業間の有機的な繋がりにより、新たな価値を生み出す都市
- ・学と産が連携し、新たな価値を生み出す都市
- ・地場の企業が、本市で操業することにメリットを享受し、外部に移転することの無い都市
- ・企業のスムーズな世代交代を促進し、持続的に成長する都市
- ・新たな価値を生みだし、市外だけでなく海外需要も取り込める都市

### ○誰もが新たな事業にチャレンジでき、働く人が安心していきいきと働くことができる都市

- ・起業に対する支援体制が充実し、事業にチャレンジしようと多くの人が集まる都市
- ・創業する風土が醸成され、起業家同士が繋がることの出来る都市
- ・若者が働くこと(創業すること)について、学ぶことができる都市
- ・市民が身近な企業活動を理解できる都市

### 計画期間における目標値

【目標】 市民(納税義務者)の平均所得額を 平成25年度の 〇〇〇 万円 から  
⇒平成28年度は 〇〇〇 万円 にします。

法人市民税収を 平成24年度の 〇〇〇 億円 から  
⇒平成27年度は 〇〇〇 億円 にします。